



# あおぞ

大江町立  
本郷東小学校  
学校だより  
No. 8  
令和4年11月24日

## その道のプロに学ぶ

その道のプロというのは、豊富な経験と優れた能力を持つ人物のことで、子どもたちがそういう方から直接お話をお聞きするのはとても意味深いと考えています。大江町には、その道のプロがたくさんいらっしゃいます。

今年度も地域の先生方をお招きして、学年ごとにキャリア教育を実施しました。どの学年でも、地域のみなさんの生き方や仕事（活動）に対する思い、地域を大切にすることができました。

授業後に書いたお礼の手紙を読むと、どの子どもも「その道のプロ」から、教科書の勉強だけでは得られない大切なことを学ぶことができていると感心しました。

- 私は教えていただいた中で、特に農業用機械が進化していたことにおどろきました。ドローンでゲーム感覚で農業が楽にできるということが心に残りました。また、趣味が仕事になっていることにもおどろきました。(5年女子)
- 私はお話を聞いて、青芋の衣・住はもともとあったけれど、食を2002年に開発したことを知り、青芋の復活を目指して活動される村上さんがすごいなと思いました。私は、今度、青芋を使った料理を食べてみたいです。他にも衣・住のことをもっと知り、青芋について深めていきたいです。(6年女子)



1年 キラリの会様



2年 佐々木隆馬様



3年 鈴木伸治様



4年 菊地一郎様



5年 菊地大道様



6年 村上弘子様

また、11月17日(木)には、山形大学農学部の笹沼恒男准教授をお招きし、6年生に出張講義をしていただきました。笹沼准教授は大江町の青芋について研究を行っています。講義では、DNA抽出実験や大江町の青芋の研究成果の話などお聞きしました。小学校では使用しない液体窒素やクロロフォルム、マイクロピペットなどを使って「科捜研の女」気分で行いました。とてもいい機会になりました。

